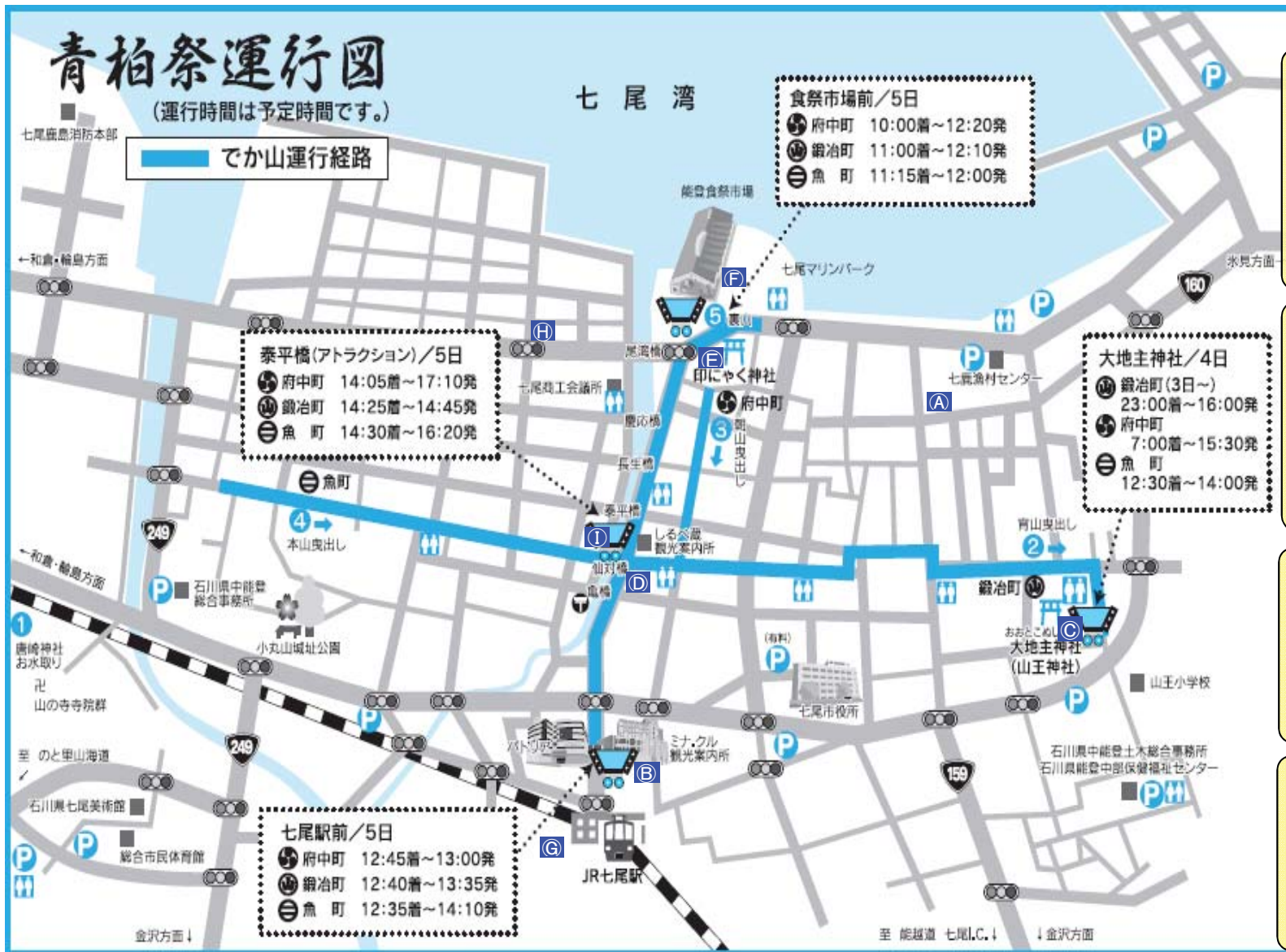


イベント情報

青柏祭運行図

(運行時間は予定時間です。)

でか山運行経路



食祭市場前/5日
 府中町 10:00着~12:20発
 鍛冶町 11:00着~12:10発
 魚町 11:15着~12:00発

泰平橋(アトラクション)/5日
 府中町 14:05着~17:10発
 鍛冶町 14:25着~14:45発
 魚町 14:30着~16:20発

大地主神社/4日
 鍛冶町(3日~) 23:00着~16:00発
 府中町 7:00着~15:30発
 魚町 12:30着~14:00発

七尾駅前/5日
 府中町 12:45着~13:00発
 鍛冶町 12:40着~13:35発
 魚町 12:35着~14:10発

「こども山」イベント
 青柏祭でか山の1/4サイズの「こども山」をひっぱることができます。たくさんのテント市や楽しいステージイベントも開催!
 日時 5月5日(火・祝) 9:30~15:00
 場所 パトリア・ミナクル(七尾駅前周辺)
【こども山の運行】
 時間 ①10:00~ ②11:30~ ③14:15~ (計3回)
 対象 小学生以下のお子様、お年寄り
 お問い合わせ 七尾都市開発 ☎0767-54-0770 (株)のと ☎0767-53-2020

青柏祭アトラクション
 日時 5月5日(火・祝) 14:30~16:00 (雨天中止)
 場所 泰平橋特設ステージ
【プログラム】
 七尾まだら (七尾まだら保存会)
 七尾豊年太鼓 (七尾豊年太鼓保存会)
 民謡 (七尾民謡会)
 歌謡ショー
 お問い合わせ 観光交流課 ☎0767-53-8424

第12回 花嫁のれん展
 歴史街道一本杉通りわずか450メートルほどの通りの民家・商家の屋内に約170枚の「花嫁のれん」が飾られます。
 期間 4月29日(水・祝)~5月10日(日・母の日)
 時間 午前9時~午後5時(見学は無料)
 場所 七尾市一本杉通り
 お問い合わせ 七尾市観光協会 ☎0767-53-8424

長谷川等伯展
 ~日本障壁画の最高傑作「楓園」公開~
 期間 4月18日(土)~5月10日(日)
 時間 午前9時~午後5時
 場所 石川県七尾美術館
 観覧料 一般800円、大高生350円、中学生以下無料
 お問い合わせ 石川県七尾美術館 ☎0767-53-1500

人形見・人形宿 (5月2日)

<p>鍛冶町</p> <p>智仁勇 勸進帳安宅の関</p> <p>① 源義経 (湊町/湊町二丁目西部町内会) ② 武蔵坊弁慶 (神明町/ミナクル) ③ 富樫左衛門 (山王町/山王奉賛会)</p>	<p>府中町</p> <p>天下を極めた等伯楓園</p> <p>① 長谷川等伯 (検物町/のと共栄信用金庫) ② 豊臣秀吉 (府中町/印鑰神社社務所) ③ 淀殿 (川洲通り/能登食祭市場)</p>	<p>魚町</p> <p>七尾小丸山城 築城の場</p> <p>① 前田利家・まつ (南藤橋町/南藤橋町会館) ② 前田利久 (昭和町/民宿 大政) ③ 前田安勝 (生駒町/麵の華)</p>
--	---	--

でか山茶会
 迫力あるでか山を楽しんだ後は、お茶でほっと一息しませんか。
 日時 5月5日(火・祝) 9:00~15:00
 場所 願正寺(七尾市検物町)
 料金 おひとり 1,000円
 お問い合わせ 表千家流 三室社中 ☎0767-52-3875

平成27年度 青柏祭曳山行事に係る各山町の出し物及びでか山運行時間

日	時間	鍛冶町	時間	府中町	時間	魚町	備考	
1日 (金)	20:00 23:00	山王神社境内～鍛冶町三差路曳出し【試運行】 鍛冶町三差路着(巻電気横)	19:00 20:00	印鑰神社～大手町角曳出し【試運行】 印鑰神社前着				
2日 (土)					15:00 17:00	御祓公民館～一本杉公園入口【試運行】 魚町見附着	人形見	
3日 (日・祝)	21:00 21:30 23:00	鍛冶町三差路【宵山】 鍛冶町三差路曳出し(花火合図) 山王神社境内着			8:00 19:00	飾り付け(御祓公民館) お籠もり(本宮神社)		
4日 (月・祝)	16:00	山王神社境内曳出し【送り山】	1:00 7:00	印鑰神社境内曳出し【朝山】(花火合図) 山王神社境内着	7:00 7:10 8:00 12:30 14:00 17:00 18:00 19:00	(花火合図) 祭礼 魚町見附曳出し【本山】 山王神社境内着【3台集合】 山王神社境内曳出し【戻り山】 一本杉通りのと共栄信用金庫ATM交差点着 一本杉通りのと共栄信用金庫ATM交差点曳出し 魚町見附着		
	19:30	鍛冶町三差路着(瀬川薬局前)	19:30	大手町角着【戻り山】(夜見せ)				
5日 (火・祝)	7:30	鍛冶町三差路曳出し【裏山】						
	10:00	御祓川仙対橋着(御祓川大通り運行)	9:30 9:45 10:00	大手町角曳出し 御祓川仙対橋着(御祓川大通り運行) 食祭市場前着(臨港道路)	9:30	魚町見附曳出し【裏山】 御祓川仙対橋着(御祓川大通り運行)		
	11:00	食祭市場前着(臨港道路)						
	12:10	食祭市場前曳出し	12:20	食祭市場前曳出し	11:15	食祭市場前着【3台集合】(臨港道路)		
	12:40	七尾駅前(パトリア・ミナ.クル)着	12:45	七尾駅前(パトリア・ミナ.クル)着【3台集合】	12:00	食祭市場前曳出し		
	13:35	七尾駅前(パトリア・ミナ.クル)曳出し	13:00	七尾駅前(パトリア・ミナ.クル)曳出し	12:35	七尾駅前(パトリア・ミナ.クル)着		
	14:25	御祓川仙対橋着	14:05	御祓川仙対橋着	14:10	七尾駅前(パトリア・ミナ.クル)曳出し		
		アトラクション 【七尾まだら・七尾豊年太鼓・民謡・歌謡ショー】			14:30～16:00			
	14:45	御祓川仙対橋曳出し						
	15:15	魚町見附着						
	15:45	魚町見附曳出し						
	16:15	御祓川仙対橋着	17:10	御祓川仙対橋曳出し	16:20	御祓川仙対橋曳出し		
			18:00	魚町見附着	18:00	松本町着		
			18:45	魚町見附曳出し				
			19:00	大手町角着				
	20:30	鍛冶町三差路着(巻電気横)			20:00	松本町曳出し		
	21:00	鍛冶町三差路曳出し	21:00	大手町角曳出し【戻り山】	22:00	御祓公民館曳入れ		
	23:00	山王神社境内着【納め山】	23:00	印鑰神社前着				

鍛冶町 ちんにゅう(ちじんゆう) かんじんちょう あたか せき 智仁勇 勸進帳安宅の関

「疑って申し訳なかった。さあ、通られよ」
主君義経を救おうとする弁慶一世一代の大芝居に、関所を守る富樫は心打たれた。嘘と知りながら一行をそのまま通す。
1183年、壇ノ浦の合戦で宿敵平家をついに滅ぼした源義経。しかし疑い深い兄頼朝は、義経に叛逆の罪をかぶせる。都を逃れた義経は、忠臣弁慶らと山伏姿で奥州(東北)をめざす。
逃避行を続ける一行は、ここ石川は小松・安宅の関にさしかかる。山伏と見たら厳しく取り調べるよう関守の富樫は命じられていた。東大寺再建のため勸進(寄付集め)を行っていると言う弁慶に、ならば勸進帳を読んで聞かせろ、と富樫は迫る。弁慶はとっさの機転で白紙の巻物を開き、大音声で読み上げた。
さらに役人が義経に目を付けると、弁慶は、お前のせいで疑われた、と涙をこらえて主君を杖で幾度も打ち据えてみせたのである。
歌舞伎十八番の一つに数えられるこの「勸進帳」には、智恵と仁義と勇気が詰まっている。

府中町 てんか きわ とうはく かねず 天下を極めた等伯楓図

「あっぱれ等伯、そちこそ天下一の絵師じゃ」
魂のこもった等伯らの絵は、秀吉、淀君を感激させ、長谷川派の名は世に鳴り響いた。
1591年、天下人豊臣秀吉は、わずか3歳で亡くなった嫡男鶴丸の菩提寺として祥雲寺を建立した。その室内を彩る金箔地の障壁画を、秀吉は長谷川等伯に依頼する。
七尾出身の等伯は、30歳を過ぎてから京に上り、約20年間御用絵師集団の狩野派に勝負を挑んできた。本来狩野派が請け負うような大仕事を、等伯一門は勇み立った。等伯は、楓の大木に繊細な秋の草花を組み合わせた『楓図』を、息子の久蔵は、八重桜の花びらを貝殻の粉で盛り上げた『桜図』を見事に完成させた。いずれも狩野派とは一線を画す表現であった。
石川県七尾美術館では、現在5月10日まで国宝『楓図』を含む「長谷川等伯展」が開催されている。

魚町 ななお こまるやまじょう ちくじょう ば 七尾小丸山城 築城の場

「兄弟力を合わせていこうではないか」
完成間もない小丸山城で前田利家・まつ夫婦と感慨を新たにするのは、利家の二人の兄、利久と安勝である。
1581年、利家は織田信長から能登の国を与えられた。利家は、山頂にあって不便な七尾城を廃し、ふもとの小丸山に城を築くことを決める。
その一昔前、すでに前田家当主となっていた長男利久に、武功で勝る四男利家へ家督を譲るよう、主君信長は命じた。不満はあっただろうが、利久はだまって承諾した。小丸山城ができる、利家は剃髪した利久を七尾へ呼び寄せる。利久は利家に仕え、後には金沢城で利家の代理も努めた。
一方利家のすぐ上の兄安勝は、利家とともに各地で戦ってきた。利家が安勝に寄せる信頼は厚かった。小丸山城築城の監督を、1583年に金沢城へ移る際には七尾城代を、と利家は重要な役を安勝に任せている。